

## 神奈川県立有馬高等学校 学校運営協議会 開催結果

本校の学校運営協議会を下記の通り開催しました。

会議名称	令和7年度 神奈川県立有馬高等学校 第2回 学校運営協議会
開催日時	令和7年10月27日(月) 16:10~17:00
開催場所	有馬高等学校 会議室・応接室
出席者	<ul style="list-style-type: none"><li>・湘北短期大学教授（学識経験者）</li><li>・有馬中学校校長（学識経験者）</li><li>・社家自治会長</li><li>・有馬高等学校PTA会長</li><li>・有馬高等学校校長</li><li>・有馬高等学校副校長</li><li>・有馬高等学校教頭</li></ul>
欠席者	<ul style="list-style-type: none"><li>・同窓会会长</li><li>・社家小学校校長</li></ul>
会議資料	<ul style="list-style-type: none"><li>(1) ARIMPIC 実施要項</li><li>(2) 地域貢献デーについて</li><li>(3) auPAYでキャッシュレス文化祭を楽しもう！</li><li>(4) 県指定事業（総合的な探究の時間 SDGs）の取り組み内容</li><li>(5) 有馬チャレンジ 2025年4月～（校外活動参加状況）</li><li>(6) 総合的な探究の時間とチャレンジ力育成の実践</li><li>(7) 高校学びフォーラム 生徒発表資料<ul style="list-style-type: none"><li>①私たちの葛藤</li><li>②ネパールで学んだこと</li><li>③チャレンジすることで私は変わった</li></ul></li><li>(8) 海外探究ツアー（新規）</li><li>(9) 令和6年度（令和7年3月卒業）進路状況</li><li>(10) 学校の様子（HPより）<ul style="list-style-type: none"><li>①アサトン高校来校</li><li>②体育祭準備</li><li>③体育祭</li></ul></li></ul>

	(11) 令和8年度入学生用学校案内
議事録	<p>●各部会協議</p> <p>(1) 地域部会</p> <p>○文化祭について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会議資料（3）のとおり</li> <li>・今年から支払い方法として導入している auPAY に対して、現金のほうが便利との声もあったが、キャッシュレス決済の方向性は進むと考える。</li> </ul> <p>○ARIMPIC 開催について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料（1）のとおり</li> </ul> <p>○有馬中学校との合同あいさつ運動について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・有馬中学と合同で近隣小学校に「あいさつ運動」を計画した。</li> </ul> <p>○地域貢献活動について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会議資料（2）のとおり</li> </ul> <p>○実施報告に対するご要望やご意見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ARIMPIC のような企画を大々的に実施していただき、高校とつながりを持たない若手教員などに対しては有難かった。ただ、海老名市内の中学は8月5日～8月20日まで閉学日のため日程調整が難しい。</li> <li>・キャッシュレス決済は今後さらに進むと思われる。</li> <li>・地域貢献活動を全校生徒で実施しているのは、担当の先生方のご苦労が大きいのではないか感じた。</li> </ul> <p>○地域協働活動についての要望やご意見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・田んぼの用水路の泥取りや、タニシの駆除なども実施する方向で検討できたらと感じた。</li> </ul> <p>(2) 未来検討部会（教育課程、探究学習について）</p>

	<p>○本校のコンセプト</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・将来の可能性を広げるため、早期に文理は分けない方針である。</li><li>・総合型選抜の利用者が多いため、自分が行きたい進路を自分で見つけることのできる学校を目指し、総合的な探究の時間に力を入れている。</li></ul> <p>○探究学習について</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・会議資料（4）のとおり</li></ul> <p>○有馬チャレンジについて</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・会議資料（5）のとおり</li></ul> <p>○総合的な探究の時間とチャレンジ力育成の実践</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・会議資料（6）（7）のとおり</li></ul> <p>○海外探究ツアーノルマについて</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・会議資料（8）のとおり</li></ul> <p>○卒業生の進路状況について</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・会議資料（9）のとおり</li></ul> <p>○本校のカリキュラムについて</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・会議資料（11）の9ページのとおり</li></ul> <p>○教育課程や特色ある活動へのご助言、ご感想</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・総合的な探究の時間についてはかなり好意的である。調べ学習で終わらず、外部にまで働きかけるつくりになっている点を特に高く評価していただいている。</li><li>・ボランティアは、授業とは異なるベクトルで生徒をみることができるためよい取り組みである。</li><li>・高校側から発信している情報について、アクティブとまではいかない生徒への働きかけについて教えてほしい。</li></ul>
--	---

:①参加生徒を募る際に、「ボランティア経験のない生徒はぜひどうぞ」という一言を添えて発信するようにしている。このことにより、大学入試での面接を不安視している3年生の意識を高めることができていると考える。

②外部に生徒が申し込むまでにスモールステップを設定している。具体的には、「この活動について興味があれば教えてください」というフォームを作成することで、直接外部に申し込むのはハードルが高い生徒たちをすくい上げることができていると考える。

#### ○学校としての見解

- ・自分から動くことへの躊躇感は減少した印象がある。
- ・昨年度（現1年生に向けて）の学校説明会で総合的な探究の時間を特色としていたため、ニーズが合致した生徒を集めることができているのではないか。
- ・「有馬はチャレンジができる学校である」ということを生徒自身や学校外に定着させることができ、学校としての次の目標である。

#### ●全体会

- ・各部会協議のとおり

#### ●その他

- ・12月17日に研究授業を実施する。
- ・第3回学校運営協議会：令和8年3月に実施を予定。